

い。したがって、今後上記のような強雨域と赤外データとの関係について、多くの例で調査を積み重ねてゆけば、強雨の予報に役立つのではないかと考えられる。

文 献

松長高雄, 1983: 赤外データ等値線作画処理とその応用例, 気象衛星センター技術報告, 第7号.

第21回理工学における同位元素研究発表会のお知らせ

関係諸学協会の共同主催で、標記の研究発表会を開催いたします。この研究発表会の目的は、異なった専門分野の研究者が一堂に会し、同位元素および放射線の利用の技術を中心とした研究、およびその技術の基礎となる研究の発表と討論を行い、各専門分野間の知識と技術の交流を図ろうとするものであります。会員各位におかれては奮ってご応募、ご参加下さることを希望いたします。

会 期 昭和59年7月2日(月)～7月4日(水)

会 場 国立教育会館(東京都千代田区霞が関3-2-3 文部省となり)

発表申込 所定の申込書(1件1通)によりお申し込み下さい。所定の申込書は下記にて請求して下さい。

〒113 東京都文京区本駒込 2-28-45

日本アイソトープ協会内

理工学における同位元素研究発表会運営委員会

TEL. (03) 946-7111(代) 内線 261

発表申込締切 昭和59年2月29日(水) 必着

講演要旨 講演要旨集を発行します。発表申し込みがあり次第、所定の原稿用紙(1,400字程度)をお送りします。

講演要旨原稿締切 昭和59年4月14日(土) 必着

Twelfth International Laser Radar Conference の講演募集

主 催 Int. Radiation Commission (IRC), Committee on Laser Atmospheric Sensing (CLAS),

期 日 1984年8月13～17日

場 所 Aix-en-Provence, France

アブストラクト締切日 1984年3月1日

問い合わせ先 福井大学工学部電気工学科

小林喬郎

TEL. 0776-23-0500

正 誤 表 (下記の通り誤植がありましたのでお詫びして訂正させていただきます)

巻 号	頁	行	誤	正
30・10	496	第1表中, 那覇の標準偏差	1.3	1.9
〃	〃	〃 最大値	5	11
〃	〃	〃 最小値	0	3